

自然に
暮らす

遊んで、
学んで、
楽しんで！

設置店募集！

Sharing NATURE life

シェアリングネイチャーライフ

2017

夏

VOL.

17

うんこは
ごちそう

「循環」と「分解者」を知る

Nature Game No.127

“うんこ”だって大事〈ネイチャーループ〉

Nature Game No.107

夏をさがして〈季節からの招待状〉

Nature Game No.004

この樹がスキ！〈わたしの木〉

<http://www.naturegame.or.jp/>

通巻
もうすぐ 100号

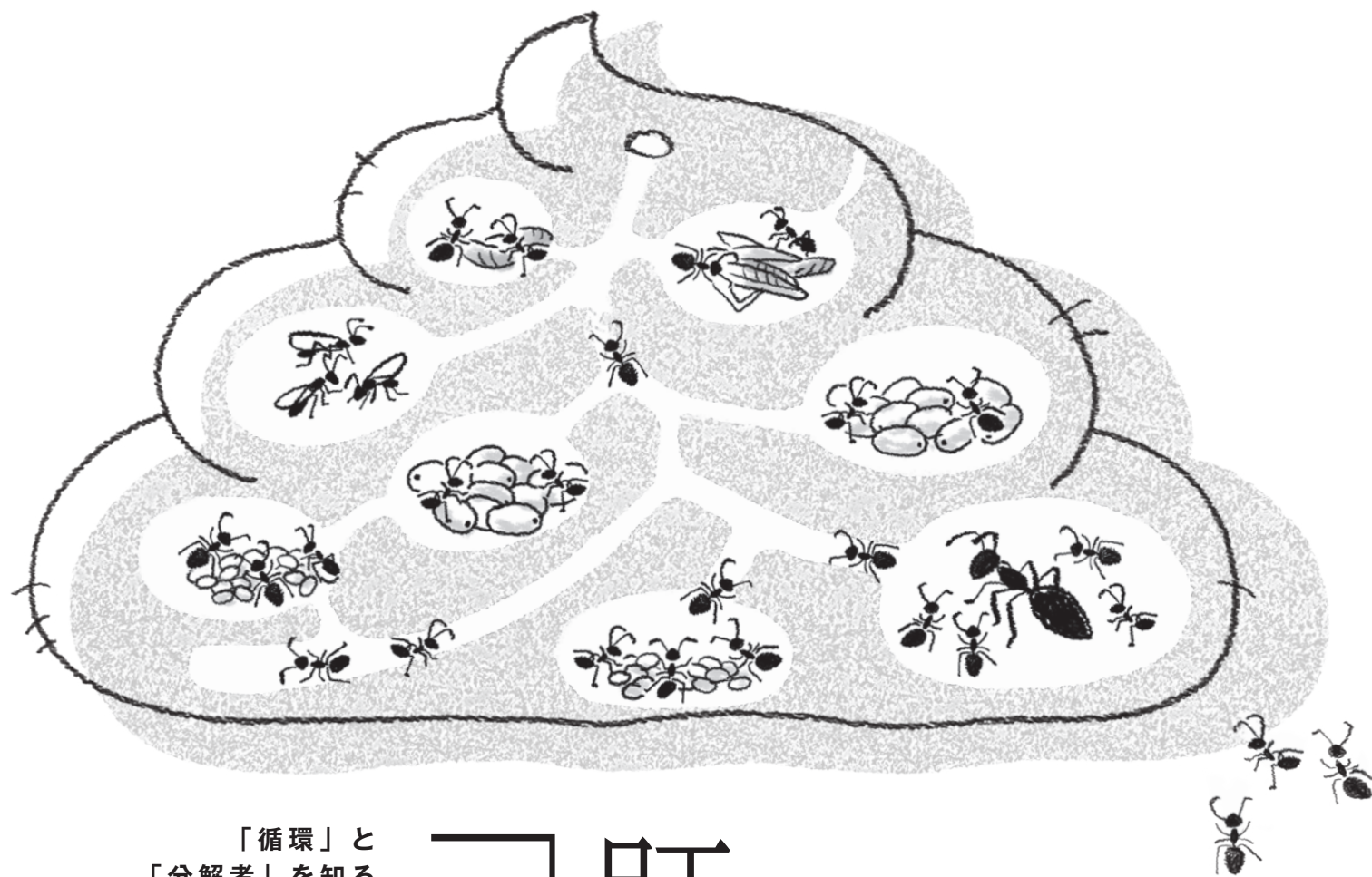
いま
98号 あと
2号



自然に寄りそう 未来につなぐ
公益社団法人
日本シェアリングネイチャー協会

スポーツ&L

0000 BIG
スポーツ振興くじ助成金を受けて
作成しています



「循環」と
「分解者」を知る

自分のうんこを見て「おいしそう！」
と思う人はいるでしょうか？ まずいな
いと思います。現在、多くの人はうんこ
を「汚いもの」と感じ、水洗トイレで水
に流し、生活空間から瞬時に排除する方
法を選んでいきます。けれど、自然のなか
で見つけた野生動物のうんこはどうで
しょう？ これは動物の種類により、感

じ方に個人差があるように思います。
キノコ写真家であり、自然界で分解さ
れる糞の観察を長年続け、最近では自ら
を「糞土師」と名乗る伊沢正名さんは「自
然界ではうんこはごちそう。その証拠に
自然のなかに放置された哺乳類の糞は、
多くの場合、数日でなくなってしまう」
といっています。では、なくなっているのは、

肝心なのは 「食べる」「出す」

「うんこ」と聞くと、多くの大人は顔をしかめます。
子どもたちはみんな、この言葉が大好きなのに：
そんな思いを密かに抱え
「うんこ」を汚いもの、不浄なものとする現代社会に
ひとり警鐘をならす、糞土師の伊沢正名さんに
「うんこ」の魅力をたっぷりおうかがいしてみました。



循環と共生の実践者
【糞土師】
伊沢正名さん

社会体制に反発する動き
が活発だった1970年代、
自然保護活動に没頭。そ
の後キノコ写真家として
活躍。現在は「うんこ」
を通して「命の循環」を
伝える活動を行っている。

文／伊東久枝
写真／伊沢正名
イラスト／井上みさお

自然をまるかじり

No.16

芸術の夏

昆虫の動きが活発になる夏。
彼らのからだを、よ〜く見る、チャンス。



しなやかな曲線



機能的なフォルム



美しい色彩



ゆかいな文様…

昆虫たちが創造した
「展覧会」をとことん鑑賞しに
いざ、森へ！

ネイチャーゲームをはじめとする
『シェアリングネイチャー』
それは、人が自然を尊重し、共生していく社会のキーワード。
公益社団法人 日本シェアリングネイチャー協会は
「自然と遊び、自然から学ぶよろこびにあふれた生活」
——をおくる人の輪を広げる活動を行っています。

Sharing
SNature
Life

シェアリングネイチャーライフ

2017 夏 VOL. 17
6月号

c o n t e n t s

特集 ●うんこはごちそう	3
イベントレポート	7
被災地復興支援情報	7
News	7
Dr.日置一「ことば」×「科学」 ●自然【じねん】	8
ネイチャーゲームで体験しよう！〈季節からの招待状〉	8
SNLな仲間たち ●東京都…安養寺陽子 さん	10
プレゼント	10
ジョセフ・コーネルの課外授業	11
四角友里 ●なんにもしないアウトドア	12

編集後記

ついに「うんこ」特集が実現しました。このテーマは、
読む人によっては不快感を感じさせてしまうのかも…との
懸念と、大事なテーマだから正面きって出したいという思
いに揺れ動いた編集部でした。じつは読者の皆さんに少し
ずつ免疫をつけてもらおうと、過去に小さなコーナーで
「うんこ」を取り上げてきました（笑）。ざっくばらんな
ご感想をいただければ幸いです。（佐々木）

誰なのか…。

以下は、伊沢さんによる、『自然界に放置されたうんこに集まってくるものの代表と出現順（目視）』です。

- ① ハエ
- ② イノシシ、ネズミなどの雑食性動物
アリ・フン虫
- ③ 菌類
- ④ ミミズ
- ⑤ モグラ（ミミズを食べる）

うんこを土のなか浅く埋めておくと、掘り出されたような穴があいていることがよくあるそうです。また、日数が経過したものは、うんこ全体がまんべんなくアリの巣になっていることも。

「アリにしたら、おとぎ話の『お菓子の家』だね」とは伊沢さん。

さらに、うんこがあった部分だけに、新しい木の根がぎっしり伸びて広がっていることも少なくないそうです。この根には、じつは共生する菌根菌がついていることも多く、菌根菌は栄養源を素早く察知し、土のなかの無機塩類や水分を吸収して木に提供し、自分の成長に必要な炭水化物(糖質)などを木から得ています。「植物は動かないと思っていましたが、すばらしいセンサーを持って積極的に生きているんですよ」（伊沢氏）

そして、うんこのあったところから新たな植物の芽生えがあり、またキノコが

生え…。命のバトンがつながります。

うんこを食べる

えっつ、うんこを食べる…そう思った方！では、うんこを食べるものがないなくて、うんこがそのまま森に放置され続けたとしたら森はどうなるでしょうか。野生動物が多い自然豊かな森であればあるほど、森のなかはうんこだらけになっていきます。うんこだけでなく、動物の死骸や枯れた草木など、森のなかはさまざまな命の残骸がうずたかく積もってしまはすです。

しかし、森はそうはなりません。常に

同じような分量の落葉が積み、草木が育ち…。そのような環境が保たれているのは、死骸やうんこ、枯葉などを食べて粉砕・消費する動物が存在し、さらにそれを「無機物」に分解する菌類（キノコやカビ、バクテリアなど）がいるからです。

植物は、光合成を行って、無機物からすべての命に必要な不可欠な「有機物」をつくるため、「生産者」と呼ばれます。そして、植物を食べ、あるいは植物を食べた動物を食べて「有機物」を得、生きている動物を「消費者」。これに対し、枯れ木やうんこ、死骸などの「有機物」を分解し、元の無機物に還元する菌類を

植物の根も栄養の在処をさぐって急速に伸びてくる。うんこがあったところ全体に根がはっていることも。

さまざまなものがうんこを分解し、やがてそこに芽生えが現れることもある。

真っ先にやってくるハエは、すぐに卵を産んで親子（ウジ）で食べる、うんこ分解の第一人者。

「センチコガネなどの糞虫は、うんこがなければ生きられない」と伊沢氏

うんこのなかにアリの巣が張り巡らされ、子育てをしていることも多い。

ミミズは「うんこの分解物」を食べて栄養を得、いらぬものを「団粒土」と呼ばれるうんことして排出する。

うんこにもぐり込んで食べつくし、空いた穴にクリの実等を持ち込んで、巣穴に使っていたことも。

モグラはうんこそのものではなく、うんこに集まるミミズなどを食べる。

食は権利、

うんこは責任。

うんこの存在に気づくと、イノシシは掘り出してがつつり食べてしまう。

土のなかにいる菌はうんこの表面を分解し、やがて地上にキノコを生やすものも多い。

「分解者」と呼びます。

自然界や命を考えると、私たちはどうしても「食べもの」をつくる生産者である植物に目がいきがちです。しかし、その植物が利用する無機物は地球上に無尽蔵にあるわけではありません。「生産者（植物）」がつくった有機物を分解し無機物に還元する「分解者」がいて、その大いなる循環が保たれているから、自然は成立しているのです。

本来の自然保護とは、この「循環を取り戻すこと」だというのが伊沢さん。「人間にとって役立つ自然や貴重だと思う自然を、そこだけ切り取って保護しようという活動は、本来の自然保護ではな

いと私は思います。現代の日本では、人は死んでも土に還れず、うんこは処理場で焼かれて、その灰はセメントの原料にされたりしているんです。自然から搾取だけして何の還元もしない。それが今の人間社会なんです。自然の循環から逸脱している。一方、食物連鎖の頂点に位置し、多くの命を奪って生きているライオンやトラ、ワシやタカなどでさえ、きちんと自然の循環に入っているのは、彼らは死んだら他の生きものの餌となり、そして野糞をしているからです」

現代人がみんなで野糞をするのは難しいとしても、一昔前まで日本では人糞を「肥やし」として利用していたように、

糞尿の利用方法やバイオマストイレの開発など、現代だからできる方法もきつとあるはず…。

『食は権利、うんこは責任、野糞は命の返し方』――伊沢さんの掲げるスローガンです。

キノコの「うんこ」

では、「うんこ」とはなんでしょう。

うんこはまぎれもなく、排泄物です。すべての生きものは、何かを体外から取り入れ、栄養を吸収し、そして不要なものを体外に排出します。すなわち、これが「うんこ」。唯一、無機物から有機物を生

産する植物も、生産過程でできる不要なものは排出をしています。その代表が、私たちには必須の「酸素」です。そして分解者の菌類、キノコもうんこをします。それが、植物が有機物を合成するのに不可欠な、リン・カリウム・チッソなどの「無機塩類」と「二酸化炭素」。

つまり、植物はキノコなどの菌類のうんこを食べて、すべての生きものに必要な有機物をつくっているのです。その植物のうんこ「酸素」を吸って私たち人間は生きています。うんこは他の生きものに不可欠なごちそう…といえるのです。

伊沢さんがキノコの写真家となったのは、山歩きをしていたときに出会ったキノコ

ノコの美しさと多様な性に魅かれたから。しかし、その生態と自然界での働きを知るにつれ、以前から活動していた自然保護とキノコがつながります。

「以前は、有機物の分解はミミズなどの土壌動物とバクテリアがほとんどを担っていると思っていたんです。ところが、動物は噛み砕きや胃腸での消化などで、有機物をより小さく簡単な物質に変えてはいきますが、最終的に無機物にまで分解するには、キノコやカビなどの菌類の働きが欠かせないわけです。有機物を無機物に戻す「分解者」の筆頭はやはり菌類です。枯れ木や落葉の分解など、キノコが存在しなかったら自然の生態系は成り立たない。なのに表舞台で派手に振る舞うこともなく、ひたすら縁の下の力持ちに徹し、嫌がられる「死」や「うんこ」を腐らせ

死やうんこを「生」の世界に蘇らせる
キノコは縁の下の力持ち。

ることを通して「生」の世界に蘇らせていく、キノコの存在に本当に魅了されました」という伊沢さん。

ところが、あるきっかけで「うんこが土に還る過程を写真に撮って証明する」という課題に挑戦するうちに、「自然の循環と共生」の思った以上のダイナミズムに取りつかれてしまっています。

じつは、先に紹介したうんこに集まる生きもののデータは、何を隠そう、伊沢さんが林のなかでした自分のうんこを掘り返して調査した結果です。「自然循環と共生」という伊沢さんの Motto は、「人間のうんこもきちんと自然に戻すべき」というもの。すでに43年以上、野糞を実践しているという強者です。ただし、そこには「正しい野糞のしかた」というルールがあります。

それは：「場所を選ぶ、穴掘り、葉で拭く、水で仕上げ、埋める、目印をつける、一つの場所には年に1回」と

いうもの。自然環境に悪影響を及ぼさず、他の人にも迷惑をかけないように細心の注意を払っているそうです。「野糞」の是非は別として、これらはうんこの「循環」を考えるうえで、ひとつの指標になるのではないのでしょうか。

「うんこもそうですけど、最近は生活の場から汚いもの（菌）や臭いさえも、執拗に排除しようとしていますよね。菌を遠ざければ、健康になれるのか。むしろ抵抗力を高め、ある程度の環境の悪化に太刀打ちできる体をつくることのほうが大切ではないのか。そんなことを考えたりします」とは伊沢さん。

自然が「循環と共生」であれば、人間に都合の悪いものだけを排除することはできません。あるものを排除すれば、その周りのものも一緒にダメージを受け、またそれらにつながるものもダメージを受けるのが自然のしくみです。「うんこ」は、そんな自然の壮大なしくみを雄弁に語っていたのです。

Nature Game No.127 ネイチャーループ

魚、虫、鳥、植物、石…すべてのものがつながっていることを実感する

毎日の暮らしのなかで、自分と自然とのつながりをダイレクトに実感することは少ないもの。でも、自然界に目を向け、生きものと生きものとのつながりをたどると、思わぬ連鎖を見つけることができます。

マツタケ、マツ、マツボックリ、ネズミ、タカ…。カードに描かれた「自然の一つの要素（生物）」になって、自分とつながるものを見つけていくと、それはやがて大きな輪に！ すべての自然がつながっていることを実感できるネイチャーゲームです。

3資格同時取得 ネイチャーゲームリーダー 養成講座

2017/5/3~5 阿部直子（東京都）

救急法を含め3資格を取得できる講座に参加。大げさではなく、新しい扉が開いてしまったようです。日常に大自然のない都市で生活していますが、そんな環境の中でも、自然は命の輝き、命の驚きを日々見せてくれている。そういうものに目がいくようになりました。小さな感動を発見するたび、世界は豊かに静かに広がります。共に過ごした素敵な仲間、愛される先生たちに感謝し、私にできることを考えていきたいです。



Event Report
1

ネイチャーゲームシヨブ 第1回「おためしクラブ」

2017/5/10 真子志穂子（ネイチャーゲームシヨブ）

ネイチャーゲームシヨブの新品を試せるワークショップ「おためしクラブ」。初回は「ミニケーシヨンカード「カタタ」を行いました。ほとんどの方が初体験でしたが、使っていくうちに思いもよらないアイデアが出たり、意外な方向へ発想が転換したり、どんな会話が弾んでいきました。最終的には参加者全員が活用イメージをお持ち帰り!! 今後も「使ってみない」とわかない商品とを題材に企画していきます。



Event Report
2

♥日本協会HPへ♥

被災地復興支援情報を下記に掲載しています。
[トップ] → [わたしたちについて] → [わたしたちの取り組み]

◆ハートプロジェクト

展示の様子、新着情報を掲載しています!

◆東日本大震災支援活動

「全国銘菓お茶っこ広場」

日程、お菓子・ボランティア募集情報を掲載しています。

◆熊本地震支援活動

「シェアリングネイチャーカフェ こびる」

日程、お菓子・ボランティア募集情報を掲載しています。



被災地に ハートの花を咲かせよう! プロジェクト 報告

Heart Project



被災地 復興支援情報



News

2017年度助成金採択状況

下記の助成金が採択されました。

■スポーツ振興くじ助成事業

- ◆情報提供（広報ツール）
- ◆ネイチャーゲームセミナー

2017年度永年会員表彰

会員を永年続けてこられた方を表彰させていただいています。2017年度は、10年継続会員346名、20年継続会員183名が誕生。該当する方には、6月に「記念バッジ」をお送りします。



10年会員
バッジ



20年会員
バッジ

実践事例・研究報告募集

会員の皆さまの実践事例や研究報告を募集しています。多くの仲間にとっての貴重な資料となりますので、積極的にご応募ください。

- 応募締切：6月30日
- 応募方法：リーダーハンドブック理論編（第7版）P.121、またはホームページをご参照ください。
- 応募先：jirei@naturegame.or.jp

シェアリングネイチャー奨励賞募集

ネイチャーゲーム指導員および組織の優れた活動や研究を奨励しています。さまざまな取り組みをご応募ください。（自薦・他薦は問いません）

- 応募締切：6月30日
- 応募方法：リーダーハンドブック理論編（第7版）P.123、またはホームページをご参照ください。
- 応募先：shoreisho@naturegame.or.jp

シェアリングネイチャー普及賞募集

会員から推薦を募り、個人の目線で「ありがとう」を伝える賞です。推薦理由はあなた次第！ご応募お待ちしております。

- 応募締切：6月30日
- 応募方法：日本協会HP→「会員のページ」→「シェアリングネイチャー普及賞 募集」をご覧ください。
- 応募先：arigatou@naturegame.or.jp

専門委員会報告

- 指導者養成委員会-3月10日（月）

- ・全国ネイチャーゲーム研究大会について
- ・トレーナー認定審査基準の検討
- ・出前講座補助スタッフへの待遇について
- ・リーダー養成講座カリキュラムについて
- ・グラントレーナーの認定 他

第12回全国一斉 シェアリングネイチャーの日

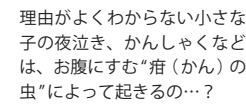
毎年10月第3日曜日は『全国一斉シェアリングネイチャーの日』です。詳細は9月号で。

- 実施日：10月15日（日）
- テーマ：自然にタッチ！

【注意】このテーマは日本協会が一般向けに提案するものです。地域の会イベントのテーマは自由に設定してください。

【お詫びと訂正】
「指導員報2017自然とわたし」に誤りがありました。下記のとおり訂正し、お詫び申し上げます。
リーフ編 P.34 4.傷害保険 3行目
以下の文章を削除
（認定については、事故発生の事前、事後を問いません）

自然は万物を生み出す大いなる存在であり、まさに人間もその一部ということ。神が自分を模してつくったとされる西洋の「人間」に対し、`虫の括りのなかで`どこからともなく産す。日本の「人」。なんだかとても、自由でゆかいな気がする。



しゃくにさわって怒りが抑え
きれないのは、腹の虫のせい
…なのだ。



季節からの招待状

からの招待状」を書く。



のプログラムです。

入道雲より

カエデより

秋が楽しみなあ



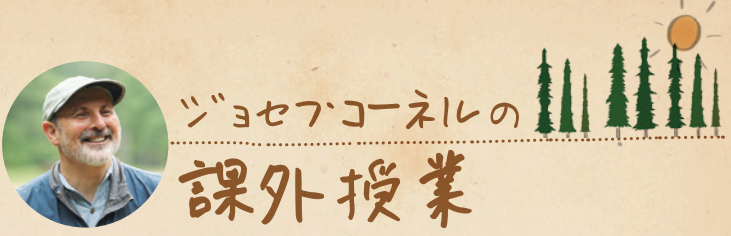
イラスト／井上みさお

④参加者同士ペアになり、相手に自分の書いた「招待状」を渡し、その場所に案内。発見をシェアする。

⑤役割を交代し、ペアの相手の「招待状」を受け取り、その場所に案内してもらう。

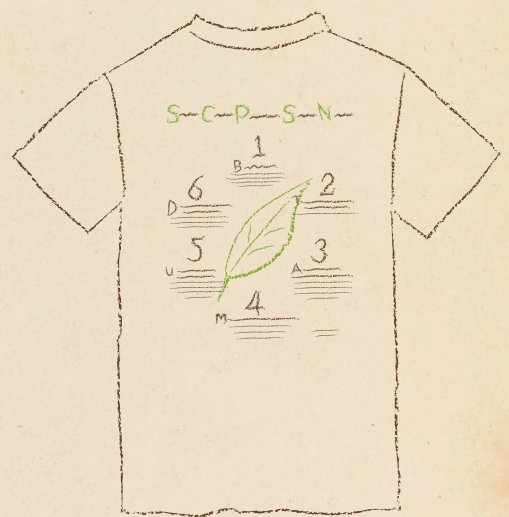
ネイチャーゲームとは 1979年に米国のナチュラリスト、ジョセフ・コーネル氏により発表された活動です。見る・聞く・触る・かぐなどの感覚をつかって、

自然を楽しみ、自然と仲良くなるためのプログラムです。



ジョセフ・コーネルの 課外授業

『シェアリングネイチャーライフ』をひも解くコーナーです。ネイチャーゲームの創始者 J・コーネルの講演録から未来に伝えていきたい言葉をピックアップしてご紹介します。



自然とともに生きる

シェアリングネイチャーの6原則の中に「自然のためだけでなく、自然とともに生きよう」というものがあります。

「自然のために生きる」という生き方、それは決して悪いことではありません。しかし、自然のために尽力するあまり、自分の心を置き去りにすることは、私は好きではありません。それは、平和活動をしながら、自分の心が平和ではない...という状態と同じです。

深い森に身を置いたときに、あなたは何を感じているでしょうか？ 周囲のものは生き生きとし、その活力のなかで穏やかに存在しています。その場所にいると、やがて自分も平穏な気持ちになります。周囲の自然へ親しみを感じたり、愛情を感じたりするでしょう。

もうずいぶん前のことですが、あるシベリアの科学者が「シベリアの自然は非常に厳しい」といいました。そして、こう続けました。「この厳しい環境のなかでいちばん繁栄している生物は、他の生物との競争に勝った生き物だともうかもしれない。しかし、じつはこのような厳しい環境のなかでは、他の生き物と協調して生きられるものが繁栄している」と、彼はいったのです。

この科学者の言葉は、ある意味「自然のもたらす真実」なのではないかと、私は思います。

Joseph Cornell
1950 年米国生まれ。野外活動インストラクターを経て 1979 年『Sharing Nature with Children』発表。以後、世界的なナチュラリストとして活躍。当協会名誉会長。

みんなが、天才!!

楽しく学んで、資格をとろう!

ネイチャーゲームリーダー養成講座

詳しくは web ページへ!

親子で森に行くのが楽しみ。

2児の父 塚原俊也さん

詳しくは web ページへ!

自然とのつながりを体感。

心とからだに... ヨーガインストラクター とうづしずかさん

詳しくは web ページへ!

受講生募集中!

www.naturegame.or.jp

詳しくは web ページへ!

遊びの引き出しがふえました。

幼稚園教諭 宮里 耕太さん

詳しくは web ページへ!

宝もの探しに夢中!

小学校教諭 天願こすえさん

詳しくは web ページへ!

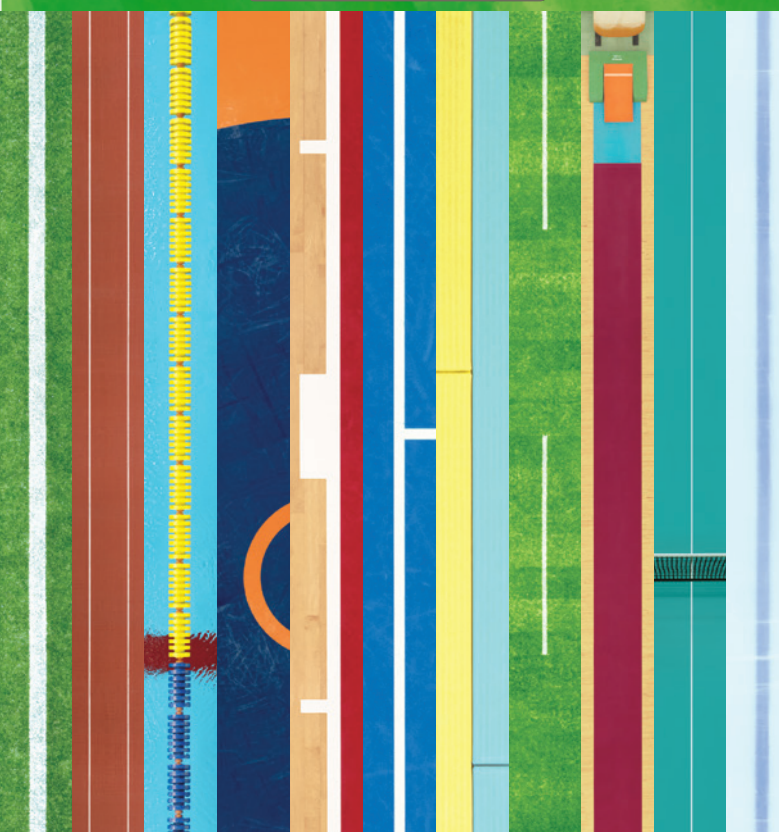
夫婦の会話も弾みます。

お土産! うりゆうじまネイチャーゲームの会 伊東博光さん、都茂子さん

養成講座日程

7/1(土)～2(日)石川	7/29(土)～30(日)宮崎	9/17(日)～18(月祝)大阪
7/8(土)～9(日)広島	9/7(木)～8(金)東京	9/17(日)～18(月祝)長崎
7/29(土)～30(日)岩手	9/9(土)～10(日)福島	9/30(土)～10/1(日)山形
7/29(土)～30(日)神奈川	9/16(土)～18(月祝)埼玉	9/30(土)～10/1(日)愛知
7/29(土)～30(日)新潟	9/16(土)～18(月祝)山口	10/7(土)～8(日)北海道

ネイチャーゲーム 資格 検索 click!



スポーツくじ



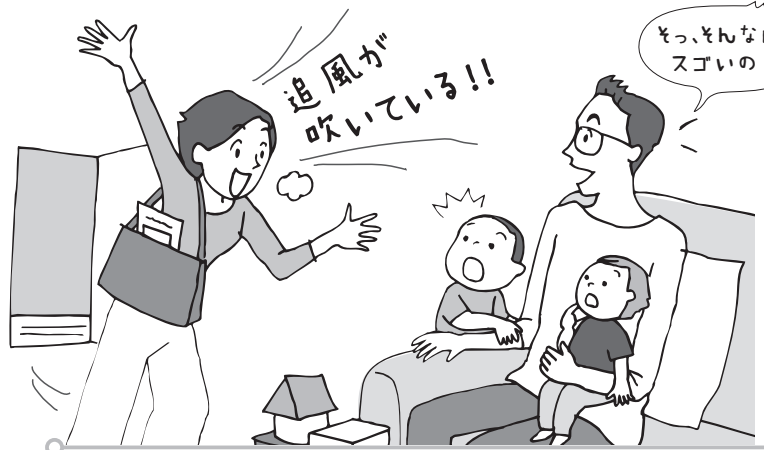
スポーツくじ(toto・BIG)の収益は、日本のスポーツを育てるために使われています。

www.toto-dream.com www.toto-growing.com

2017年3月にリーダー養成講座を終了、受け取った会員証を見てびっくり。びっくり4万番! 養成講座が始まった27年前、私が住んでいる東京の多摩地区は、まだ畑も多くあって、子どものころは泥だらけになって遊んでいました。それが今、子どもたちには泥んこ遊びも木登りもなかなかさせられず、そんな育児にモヤモヤしています。

偶然にも講座で一緒になった仲間が、同じように感じているお父さん二人。また、人生の先輩として応援してくれる人にも出会い、このタイミングに何か運命的なものを感じたのです。彼らの話に後押しされ、帰宅するやいなや夫に「追風が吹いてるよ!」「やるよ!」と興奮ぎみに話してしまい、夫を「えっ、そんなに」と驚かせちゃいました。

学生時代から自然や環境に興



子どものために暮らしを変えたい



会員登録40,000人目!
安養寺陽子さん

「追風が吹いている!」 受講日の興奮に 夫もビックリ!?

仕事は、環境コンサルティングの会社勤め。やりがいもあり、充実してはいますが、通勤に往復3時間。子どもたちと過ごす時間はあまりとれず、時間がかとても貴重であることを痛感します。そのような状況のなかで、3人目の子の産休を前に、子どもたちとも一緒に地域で活動する場をつくりたいな、と思っていたとき、WEBサイトで知ったのが養成講座です。

偶然にも講座で一緒になった仲間が、同じように感じているお父さん二人。また、人生の先輩として応援してくれる人にも出会い、このタイミングに何か運命的なものを感じたのです。彼らの話に後押しされ、帰宅するやいなや夫に「追風が吹いてるよ!」「やるよ!」と興奮ぎみに話してしまい、夫を「えっ、そんなに」と驚かせちゃいました。

家族、びっくりのき

イラスト/初澤久美 取材/水信亜衣

夏だ! 外、行こ!
読者プレゼントに!

アンケートに答えて
シェアリングネイチャーグッズを
ゲットしよう!

Present

応募締め切り:2017年7月15日

さらに深く知りたい方、必読!

特選! 登場人物の最新本!

これがあれば、いますぐ、できる!!

夏だ! アウトドアだ!

折りたたみ型超コンパクト! 直径120×高さ25mm

いつ出先でもわからない虫たちに備えろんだ!!

カード、ポチがセッットに!!

色んな楽しみ方!

① 伊沢正名著『「糞土思想」が地球を救う 葉っぱのぐそをはじめよう』 2名様
野糞歴43年で熟成した思想と実践法を実用的な葉っぱの図鑑とともに紹介した充実の一冊。1,512円(伊沢正名著/山と溪谷社発行)

② <季節からの招待状>がすぐにできるセット 3名様
本誌P.8で紹介したネイチャーゲーム<季節からの招待状>がいますぐに体験できるセットを特別にプレゼント。(企画・提供:編集部)

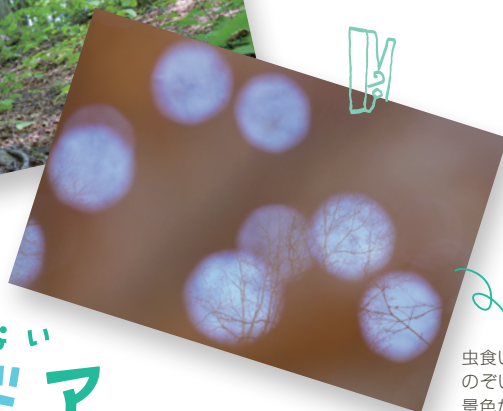
③ 夏にお勧め「折りたたみ虫かご」2名様
夏、外遊びの定番といえば、昆虫観察! あるようでなかった折りたたみ式の虫かごは、とっても便利です。880円/ナイロン製/収納袋付(提供:ネイチャーゲームショップ)

私だけの
すてきな樹を
さがして



写真：加戸昭太郎

ブナの新緑が眩しい
白神山地にて。
五感をフル稼働させ、
どっしりと佇むブナの樹と
触れ合ってみる



虫食い穴から
のぞいてみた空は、
景色が違ってみえて
面白かった

なんにもしない アウトドア

Nature Game No.004

山歩きが初めての友人を
連れ出すときはいつも
「山でどんなことをしてみたい?」と聞いてみる。
すると「青い空と絶景が見たい!!」
「湧き水で淹れたコーヒーを飲みたい」と
そのひとならではのキーワードがでてくる。
おもしろかったのは
「すてきな樹に出会いたい」というリクエスト。
「すてき」と感じるポイントはどこにあるのか。
御神木のこと? 樹齢の長い木のこと?
はたまた巨木?.....私は頭を悩ませ、
ブナやミズナラなどの生息する
植生の豊かな森を選んだ。そして出発前に
「自分が惹かれた樹を最後に報告しあおう」と
テーマを決めてみた。
幹に触れたり、枝ぶりを見上げたり。
葉っぱの匂いをかいでみたり。
私たちはのんびり、樹々との会話をして歩いた。
いま思えば、ネイチャーゲームの
【わたしの木】に似た遊びだったのだ。
友人はその後、仕事が忙しくなり
山へは行けていないそうだ。
けれど彼女は言っていた。
電車で揺られていると、この線路の先に待つ
「すてきな樹」はいまなにをしているだろうか。
ふと、そう思い出すことがあるのだと。

Yuri Yosumi profile

白百合女子大学卒。執筆、講演、ウェア開発を通し、「大自然と自分らしいスタイルでつながりたい」というメッセージを発信。山スカートの先駆者、着物着付け師としての顔ももつ。現在、Webマガジン「Share the Mountain」などで連載中。著書に『デイルーアウトドア』他がある。

My Book



『一歩ずつの山歩き入門』¥1,200+税
女性の山歩きデビューから2泊3日の山小屋泊トレッキングまで、四角友里流のノウハウを全公開。

設置店募集!

ご連絡ください!

シェアリングネイチャーライフ Vol.17

通巻 98 号

発行日 2017 年 6 月 15 日

発行人 西澤信雄

発行所 公益社団法人日本シェアリングネイチャー協会

〒160-0004

東京都新宿区四谷4-13-17ワークスナカ2階

Tel. 03-5363-6010 Fax.03-5363-6013

http://www.naturegame.or.jp/

jimukyoku@naturegame.or.jp

編集：佐々木香織、水信亜衣、伊東久枝

デザイン・DTP：花平和子

表紙イラスト：矢原由布子

本誌掲載の記事、写真、イラストなどの無断掲載を禁じます。

スポーツ&LIFE



スポーツ振興くじ助成金を受けて作成しています